

## 令和元年度大阪府精神保健福祉審議会 議事概要

■日 時：令和2年2月28日（金） 14：00～16：05

■場 所：大阪赤十字会館 3階 302会議室

■出席委員：池田会長、東委員、大西委員、河崎委員、倉町委員、阪口委員、阪本委員、佐々木委員、堤委員、林委員、山本委員、米尾委員

### ■議事概要：

#### （1）第7次大阪府医療計画（精神疾患）の取組み状況について

- 国が作成した調査資料を踏まえ、平成28年度と平成29年度の大阪府における疾患区分ごとの診療実績について、その推移及び全国と人口規模に近い他都府県との比較を通じた傾向等を報告。
- アウトカム指標から見ると、大阪府は、3カ月時点での退院率がほぼ全国平均、1年未満入院患者の3カ月時点での再入院率が全国平均よりも低い状況。
- また、第7次大阪府医療計画上の精神疾患に係る各指標の目標値と進捗状況から、今年度の取組み状況と次年度に向けた取組方針を説明。本審議会での意見も踏まえて、3月に開催する大阪府医療審議会の資料として提出する予定。

#### 【委員の主な意見】

- ・アウトカム指標から見た大阪府の状況は、単に他都道府県との比較を通じて視覚的に捉えたもの。現状を良しとせず、退院率をさらに高くしたい、再入院率をさらに下げたい、といった施策の方向性についての議論を行ってもらいたい。
- ・夜間・休日合併症支援システムは、システムとして順調に運用されているが、支援病院が南部に集中している。地域偏在の解消に向けた取組みとともに、地域内での一般科医療機関と精神科医療機関の更なる連携による身体合併症患者への受け皿作りが必要。
- ・地域移行となると、地域における医療と福祉との連携が重要。  
また、入院患者の高齢化、がんや生活習慣病などの合併症併発など、診療という観点では、精神科と他診療科との連携を進めてもらいたい。

#### （2）令和元年度 府内精神医療圏における精神医療懇話会の開催状況について

- 府内精神医療圏（二次医療圏）ごとに設置している精神医療懇話会の今年度の開催実績について報告。
- 全圏域で議題として取り扱った妊産婦メンタルヘルスについて、委員意見を踏まえた大阪府の対応策を説明。
- 「妊産婦メンタルヘルス対応簡易マニュアル」を作成し、府内の産科と精神科に配布するとともに、今年度は2市で行った事例検討会を来年度以降は他市でも実施し、地域における支援システムも整備していく予定。

### (3) 第7次大阪府医療計画に係る中間見直しについて

- 都道府県・地域連携拠点医療機関の要件と実績確認の内容について、各圏域の懇話会等で寄せられた意見も踏まえた必要な修正を行い、それを基に中間年以降の拠点を定め、実績を評価することを提案。
- 来年度は第7次医療計画の中間年であり、府医療計画の精神疾患においては、計画全体の大幅な変更は考えていないものの、必要な見直しは行う予定。
- そのため、計画に定める取組状況の検証を主要議題とするものと、中間見直しに向けた検討を主要議題とするもので、計2回、本審議会を開催する計画。

#### 【委員の主な意見】

- ・依存症患者に対しては、医療だけでなく、自助グループ等による長期にわたる支援が必要であり、実績確認には自助グループへのつなぎなどを要件として定めてはどうか。
- ・最終的には地域共生社会という、みんなが連携して支援できる形を整えていくには、行政内部で担当部局間が一層連携しなければ実を結ばない。
- ・地域の中で自立支援法における個別相談を担う人材が育ちつつあるのは事実。個別の事例で、医療機関との連携実績が上がっていきだろう。このような個別支援担当者についても、具体的に対象者を明確にしたうえで医療計画に触れてほしい。
- ・国が見直しを検討している指標である地域平均生活日数について、1年以上の長期の方の退院後の日数もデータとして加えるべきであり、府計画の指標に加える場合は、注意を払う必要がある。
- ・地域平均生活日数は、言葉を明確に定義して、指標として今後議論していきたい。
- ・ギャンブル等依存症に関して、対応する各専門職種のスタッフを育成することも要件に加えておかないと、最後の評価の際に、成果を把握できない懸念がある。
- ・認知症の初期集中支援チームに、精神科のスタッフが関与しないチームも多々あり、このようなチームに側面から支援する機能を都道府県連携拠点は有しておいた方がよいかもしれない。
- ・連携というのは、見せにくい部分もあると思うので、実績として扱ってもらえる見せ方のようなものを府として模索してもらいたい。
- ・地域への期待は大きいと思うが、市町村によって有するリソースに差があり、格差があるというのが現状。退院を促進させる場合、具体的にどう進めるのかが課題。利用者の生活がどのように豊かになったのか、という視点も必要ではないか。

### (4) その他

#### ①令和2年度 大阪府精神保健対策主要事業 当初予算案について

- ・本府精神保健対策事業のうち主要事業である、依存症対策強化事業・自殺対策強化事業・精神科救急医療体制整備事業について、令和2年度当初予算案の概要を報告。

#### ②大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画案について

- ・ギャンブル等依存症対策基本法に基づき策定する大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画について、その概要と策定の進捗状況について報告。

③大阪府におけるてんかん診療体制について

- ・今年度から新たに取り組んでいる「大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業」について、診療拠点機関の指定結果と取組状況を報告。

【委員の主な意見】

- ・依存症対策については、学校の進学を諦めた、両親が離婚に至ったなど、本人だけでなくその家族を支援することも重要。依存症に悩む人は非常に多いと思われ、相談拠点や治療拠点につながる前の、市役所や区役所レベルでキャッチアップできるような予算執行も検討してほしい。